



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 10 号
平成 29 年 2 月 1 日
練馬区立上石神井小学校
校長 井口 洋

挨拶は、感謝の心

校長 井口 洋

毎週月曜日の全校朝会で、必ず話をするがあります。それは、挨拶についてです。

「立ち止まって、自分から、相手の目を見て、元気よく挨拶できているか。そして挨拶の言葉の後に、お辞儀をしているか。」このことを繰り返し伝えてきました。少しずつではあるけれど、定着してきたかなと思っていたあるときに、地域の方から次のような話をうかがいました。「朝、登校班で児童が登校していく時に、近所の方が、『おはよう』と言っても何も言わない児童がいる。」

このことから、今までの指導について 2 点を反省しました。「今まで全校朝会で挨拶について毎回伝えていたが、校門前や学校内でのことと児童は捉えていたのではないか。」「不審者対応として、『見ず知らずの人に声をかけられても対応しないようにしよう。』と指導していたが、地域の方との挨拶と不審者対応を児童が同様に考えているのではないか。」です。

現在は、「地域の方々にも挨拶しているか。」を加えて、毎週朝、児童に伝えています。現状では、低学年ほど挨拶ができていますが、まだまだ、継続して伝えていく必要があると感じています。

さて、遠州茶道宗家 13 世家元不傳庵 小堀 宗実 氏は「三つの挨拶」ということを子供たちに伝えているのだそうです。

茶道では、自分の前にお茶碗が運ばれたら、先ず次客に対して「お先にいただきます。」と言います。自分が他者より先んじる時に発する「お先に」は海外にはありません。自分以外の第三者の存在を認識する言葉でもあります。(中略)

次にお茶をいただいたら「大変結構です。」これは自分のために一生懸命何かをしてくれた人に素直に謝意を表す言葉です。コミュニケーション下手な子供にとって声に出してありがとうを表現する大切さを理解してもらいます。

第三が、お茶をいただき終わった時の「ごちそうさまでした。」これはお腹一杯になった、満足したという意味だけではなく、たった一服のお茶をいただくにも、湯を沸かし、床の間に掛物を掛け、花を入れ、茶室を清め、庭も掃除する。つまり人間が生きていくというのは、たった一人ではなく、たくさんの人との関わりや支えにあっているということに対しての感謝の気持ちを表現している挨拶であると伝えています。

このような気持ちをもつことは、茶道だけでなく、毎日の生活の中にでも必要だと思えます。「おはようございます。」「こんにちは」「いただきます。」「さようなら」「ただいま」等の挨拶の時にも、自分と様々な形で関わり、支えてくださっている方々に感謝して、挨拶する児童を育てていきます。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

2 月行事予定

6(月) クラブ
7(火) 避難訓練
9(木) B 時程・1 年生 4 時間授業
新 1 年生保護者会

10(金) 能楽教室(6 年)
13(月) クラブ(3 年生見学) 保育園交流
14(火) たてわり給食・遊び
東京ガスの話(6 年)
15(水) 4 時間授業 下校 13:10
16(木) お別れスポーツ大会 (5・6 年 5・6 校時)
17(金) リトルティーチャー(5 時間授業 中 1)
20(月) クラブ(3 年生見学)
21(火) 社会科見学(6 年)

22(水)～24(金) ユニセフ募金
27(月) クラブ(最終)
28(火) 保護者会 (1・2 年)

3 月行事予定

1(水) 6 年生を送る会(3・4 校時と給食)
2(木) 保護者会 (5・6 年) 5 時間授業(5・6 年)
祝う会(6 年)
3(金) 保護者会 (3・4 年) 5 時間授業(4 年)
1/2 成人式(4 年)
6(月) 委員会
8(水) 避難訓練
9(木) 学校保健委員会